

なす からす やま 報

No.142

Public Relations Magazine of Nasukarasuyama City

特集	ごみダイエクトはじめよう.....	2
第2回市議会定例会.....	8	
山あげ祭・ユネスコ登録で集まる注目.....	10	
災害に関する協定や避難訓練など.....	12	
地域おこし協力隊奮闘記パート1.....	15	
スポーツで大活躍.....	16	
ホタルイベント盛んに.....	18	
けんこう・消費者コラム.....	19	
まちのわだい.....	20	
インフォメーション.....	22	
烏山高校の紹介・ジオパーク構想だより.....	24	

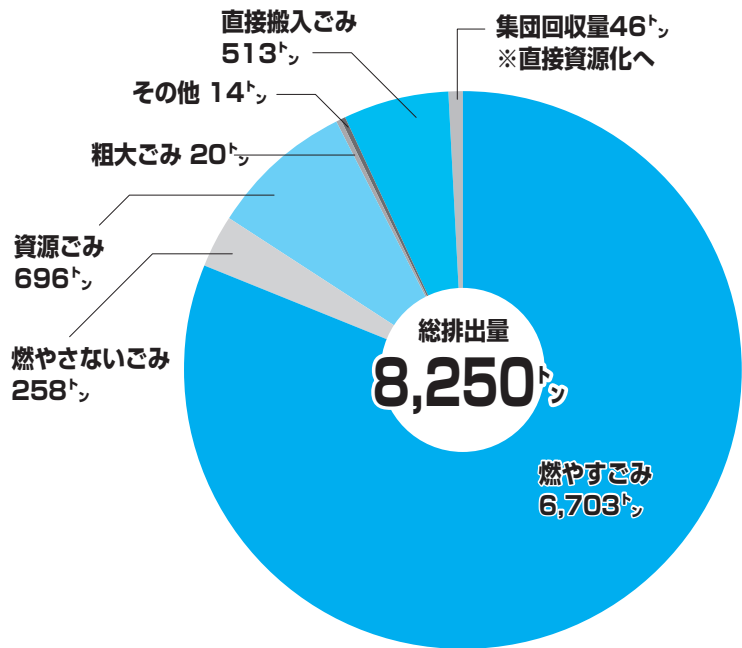


July

2017

7

い〜く〜入るかな? (6月3日、せせ小運動会)



ごみ処理費用

1年間で…

4億円

※平成27年度

リサイクル率

県内最低の

9.8%

※平成26年度

ごみダイエット

あなたのひと手間がごみの減量化へ

1年間でどれくらい量の「ごみ」が出ていて、その処理にどれくらい費用がかかっているかご存知ですか？

普段何気なく捨てている「ゴミ」ですが、例えば、「紙類のごみ」やリサイクル可能な燃えないごみを正しく分別し、「資源ごみ」に回すことで、ごみの減量だけでなく、資源の再利用にもつながります。

そのポイントは、「ひと手間」！一人ひとりがひと手間かけることでごみ資源化と減量ができるのです。

今月号の特集では、那須烏山市のごみ事情やごみを減らすための取り組みなどを紹介します。さあ、夏も本番。そろそろ「ごみダイエット」をはじめましょう。

那須烏山市のごみ事情

ごみ排出量1年で8千トン超
処理費はなんと4億円！

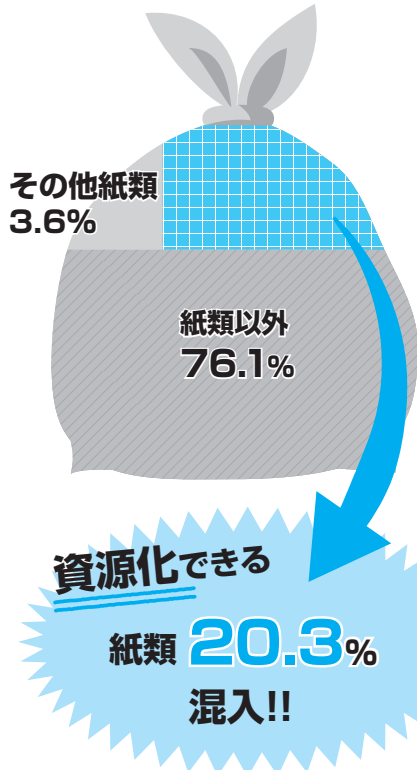
本市が1年間で排出するごみの量は、約8,250トン。そのうち燃やすごみが約6,703トン、燃やさないごみが258トン、資源ごみが696トン、そのほか粗大ごみ、有害ごみ、直接搬入ごみとなっています。1人あたりでは

1年間で約290キログラムとなり、1日に換算すると約800グラム排出していることとなります。

また、ごみの焼却などにかかる処理費用は、年間で約4億円。1人あたりで計算すると年間で約1万5千円にもなります。ごみの処理には、皆さんの税金が使われています。環境に優しいまちづくりはもちろんです。この費用を削減するためにも、さらなる排出

「燃やすごみ」と「燃やさないごみ」の混入物の調査結果

燃やすごみ



燃やさないごみ



保健衛生センターの職員によって、「燃やさないごみ」への混入物を調べてみると…



“空き缶が混入”



“燃やすごみが混入”

抑制に取り組むことが必要です。

本市では、このような現状から、市一般廃棄物処理基本計画により、1日1人あたりのごみの排出量を平成32年までに770グラムまで減らす目標を立てました。1日に1人あたり排出するごみの量が現在約800グラムなので、1人ひとりがあと約30グラム減らすことにより、目標値を達成することができ、年間になると1人約11キログラムごみを減量することができます。

リサイクル率は
県内最低の9.8%…

平成26年度の「とちぎの廃棄物」に関する調査によると、本市のリサイクル率は県平均の17.1%を大きく下回り、9.8%と、県内で最下位となっています。リサイクル率が低い要因としては、再利用できるものでも資源ごみとしての分別がされず、燃やすごみや燃やさないごみとして捨ててしまっている現状があります。

それ本当に燃やすごみ？
混入するごみたち

保健衛生センターでは、搬入されたごみの不適物の混入状況を把握するため、定期的にごみの搬入物検査を実施しています。

5月16日(火)に行った燃やすごみの

中の資源化できる紙類の割合調査では、燃やすごみ全体の23.9%を紙類が占め、資源化できる紙類に限っても全体の約20.3%を占めていることがわかりました。この紙ごみを正しく分別すれば資源を有効活用できるうえ、燃やすごみの大幅な減量につながります。



5月23日、燃やさないごみの調査。

また、5月23日(火)には、燃やさないごみの調査を行いました。すると、アルミ缶やスチール缶、びん類などの「資源ごみ」や「燃やすごみ」が大量に混入していました。

通常、職員による手選別や磁選機械(磁石による選別)・アルミ選別機による分別をしていますが、これには限界があり、分別できなかったごみは、最終処分場に埋め立てられます。この最終処分場もいつかはいっぱいになってしまいます。少しでも長く使用するためにも、ごみの量を減らす必要があります。

(上記「調査結果」参照)

これからは分別と3Rがあたりまえ！

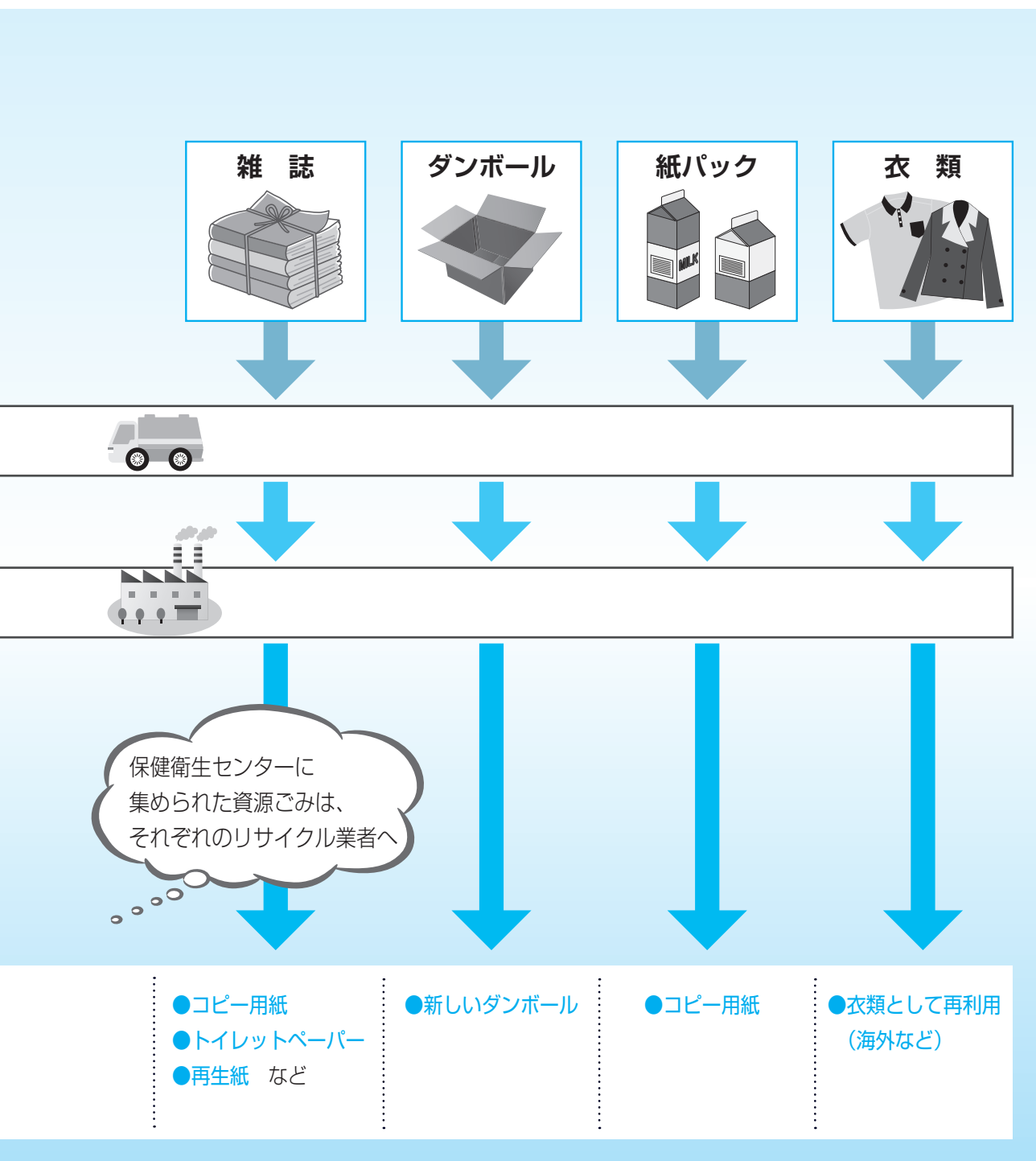
新しい製品に生まれ変わる資源ごみを見逃さないで！

家庭から回収されたごみは、一度、保健衛生センターに運ばれます。それから、分別された種類ごとにリサイクル業者へとわたり、その後、ガラスびんは溶かして新しいびんになったり、新聞や雑誌は再生紙へとなったりして新たな製品として生まれ変わります。

ごみを減らすためには3R活動をはじめよう

市では、「不要なものを買わない」「使えるものを繰り返し使う」「再び資源として使う」の3つの方法を皆さんにすすめています。

この取り組みは、「3R(スリーアール)活動」といって、「Reduce(リデュース)：ごみを減らす」「Reuse(リユース)：くり返し使う」「Recycle(リサイクル)：再生利用する」の3つの頭文字をとったものです。この3つのRに取り組むことで、ごみを限りなく少なくし、ごみの焼却・埋め立て処分による環境への悪影響を極力減らすことや限りある地球の資源を有効に繰り返し使う「循環型社会」を実現することができます。



③ 再生利用する

- ・ごみは分別する。
- ・リサイクルされた製品を買う。

不要品の適切な処分

- ・どうしても使えないものは、燃やして、熱を使用する。
- ・最後に残ったものをきちんと処分する。



② くり返し使う

- ・リターナブル容器(牛乳びんのようにお店で回収し、洗って再び使えるようになる容器)の製品を買う。
- ・いらなくなったものは欲しい人に譲ったり、リサイクルショップを活用したりする。



① ごみを減らす

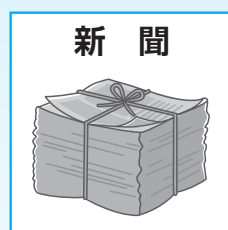
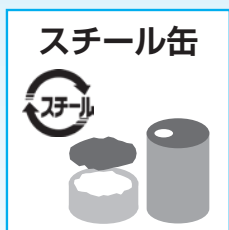
- ・ごみになるものは買わない。もらわない。
- ・こわれにくく、長く使えるものを買う



3Rの3つの行動

分別もとても大切なことですが、そもそもごみを排出しないエコな生活を送ることも大切です。

那須烏山市の
資源ごみのゆくえ



回収

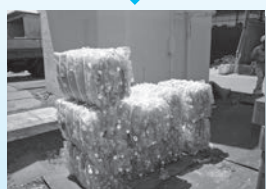
保健衛生センター



色別に分別



それぞれでプレス



プレス

- 茶・無色びん
→●新しいびん
- 茶・無色以外のびん
→●グラスウールなど

- 鋼材
- 新しいスチール缶
など

- 新しいアルミ缶
など

- 新しいペットボトル
- 食品トレー など

- 新しい新聞紙

小やなすからゴミリミット

1人ひとりのひと手間が 資源化と減量のポイント

本市では、環境基本計画に基づき、企業や家庭で出るごみの減量などに取り組んでいます。

今年、新たな取り組みとしては、県内のワースト1を記録している資源化率の向上に向け、まずは市職員の意識改革をするため、職場で出た紙ごみの回収を始めることにしました。1箱約9・5〜10キログラム回収することができ、これまで、燃やすごみとして捨てられていた紙を有効的に資源化へとつなげることが出来ます。この取り組みは、今年度内に試験的に実施し、課題を検証する予定です。さらに、保健衛生センターへ出向き、「市のごみ回収の現実」を肌で感じてもらう研修会の開催を検討しています。



紙ごみ回収ボックスの活用。

ゴミの分別 マップ

燃やすごみ指定ゴミ袋

・生ごみ・ちり紙・プラスチック製品・ビニール製品など
※大きいものは30センチくらいに裁断。

燃やさないごみ(コンテナ)



布類(折りたたんでひもで十字にしばる)

・衣類・シーツ・タオルなど
※袋には入れて出さない。
※肌着、汚れたものは30センチ以内に切って「燃やすごみ」。

生ごみの水をよくきくと原料につながります



・缶ビンなど資源物以外の物・金属製のふた・ガラスコップ・皿・汚れた缶ビン・薬のビン・ライター など
※コンテナからはみ出ない大きさのもの。
※スプレー缶は穴を開ける。
※刃物などは厚紙に包んで「キケン」と表示する。



資源物

▼空き缶(コンテナ)
・スチール缶(ジュース缶、かんづめ缶、ミルク缶、菓子缶等で「スチール」の表示のあるもの)
・アルミ缶(ビール、ジュースの飲料水用、かんづめ缶で「アルミ」の表示のあるもの)
※金属のふた付の缶の場合、ふたは「燃やさないごみ」。
※油等で汚れた缶は「燃やさないごみ」。
▼ペットボトル(コンテナまたは指定ゴミ袋)
・清涼飲料水・しょう油・焼酎などの「ペット」の表示のあるペットボトル
※ふた、ラベルは「燃やすごみ」。
※シャンプー、洗剤、食用油等で「ペット」の表示の無い容器は「燃やすごみ」。
▼空きビン(コンテナ)
・茶色ビン(茶色無色以外のビン無色ビン)
※無色かどうか分からない場合は、「茶色無色以外のビン」。
※割れたビンも色分けして、該当目に出す。
▼新聞紙または雑誌、新聞チラシ(ひもでしばる)
※「新聞紙と広告チラシ」、「単行本」、それぞれに仕分けし、ひもで十文字にしばる。
※袋等に入れて出さない。
▼ダンボール(ひもでしばる)
※開いて適当な大きさにたたみ、ひもで十文字にしばる。
▼紙パック(ひもでしばる)
・牛乳、飲料用
※裏側が銀色(アルミ)の物は「燃やすごみ」。



近年では、平成27年5月からは、国が定めた小型家電リサイクル法に基づき、家庭で不要になった「小型家電」を従来の「ごみ収集」とは別に、市内4か所に設置した「小型家電回収ボックス」で回収しています。小型家電に含まれる金属やプラスチックの再利用促進を目的とするもので、回収した家電は国の認定事業者に売却されます。

同年9月からは、本市在住者を対象とした「ごみ分別アプリ」をリリースしました。このアプリでは、ごみの収集日やごみの出し方、出すときの注意点などごみに関する様々な情報をスマートフォンを利用して確認することができます。

「ごみを減らそう」と、言葉ではいくらでも言えます。しかし、「じゃあ、どうすればいいの?」と思う人も多いでしょう。ごみを減らすためには、私たち一人ひとりが問題に関心を持ち、ごみをなるべく出さないことはもちろん、ごみが出たときにどう処理をするかを考えるということが大切です。

混ぜればごみ、分ければ資源…。ごみだと思っても、正しい分別をすれば新しい資源として生まれ変わることができます。

分別はマナーです。この機会にもう一度「ごみの分別」について考えてみませんか?一人ひとりの「ひと手間」がごみの資源化と減量につながります。

■環境課 ☎0287-183-1120

小型回収ボックスを利用しよう

■専用回収ボックスの設置場所

「南那須庁舎」、「烏山庁舎」、「保健福祉センター」、「烏山公民館」

■回収対象品目

ヘアドライヤー、ヘアアイロン、電気かみそり、電気バリカン、電動歯ブラシ、ラジオ、懐中電灯、時計、電卓、電子辞書、電子書籍端末、電子血圧計、電子体温計、電気アイロン、電気ホットプレート、ゲーム機(据置型、携帯型、ミニ電子ゲーム型)、映像機器(DVDビデオ、DVDレコーダー/プレーヤー、チューナー等)、音響機器(MDプレーヤー、デジタルオーディオプレーヤー、ICレコーダ、ヘッドホン、イヤホン、プラグジャック、補聴器等)、カー用品(カーナビ、カーラジオ、カースピーカー、ETC車載ユニット等)、これらの付属品(リモコン、ACアダプタ、ケーブル、充電器等)

■回収できる大きさ

縦15cm×横50cm×高さ50cm

■注意事項

- ①土・日曜日及び祝日の回収は行いません。
- ②対象品目でも、ボックス投入口から入らない物は環境課に問い合わせてください。
- ③電池やバッテリーは取り外し、回収品のみ投入してください。
- ④一度ボックスに投入した小型家電はお返しできません。
- ⑤回収対象品目以外は、投入しないでください。
- ⑥保存してある個人情報、必ず消去してから投入してください。

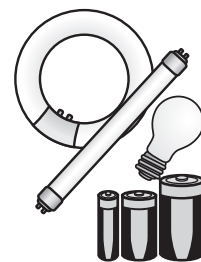
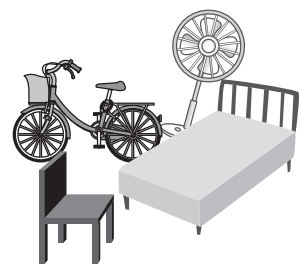
「ごみ分別アプリ」ダウンロードはこちら

携帯電話のバーコードリーダーを使いQRコードを読み取るか、Andoroidは「Google Play」、iPhoneは「App Store」で「那須烏山市ごみ分別アプリ」と検索してダウンロードすることができます。



■粗大ごみ(市に事前に申し込む)

・コンテナからはみ出る大きさ以上のもの…自転車・ガス台・流し台・食器棚・ストーブ など



■有害ごみ

▼乾電池(透明な袋に入れて出す)

・使用済みのマングン、アルカリ乾電池

※ボタン電池、蓄電池(カメラ、ビデオ、携帯電話など充電して使える電池)は販売店に持っていく。

▼蛍光灯(2本以上はひもでしぼる)

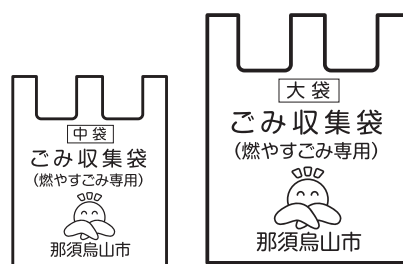
・割れていないものに限り。

※割れた場合は「燃やさないごみ」。

■市指定ごみ袋

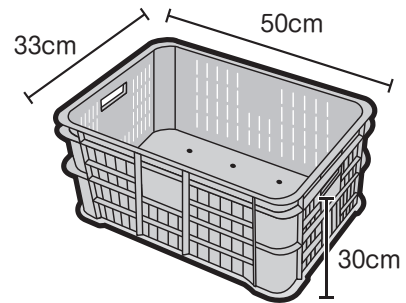
販売店で購入する。

中袋/10枚入り 1300円
大袋/10枚入り 2000円



■コンテナ

33センチ×50センチ×30センチ程度の大きさのものを販売店で購入する(色指定なし)。





平成29年度補正予算、条例の一部改正、 人権擁護委員の人事など11議案を審議

平成29年第2回市議会6月定例会が、6月6日(火)から14日(水)までの9日間の日程で開かれ、平成29年度補正予算や条例の一部改正、人権擁護委員の人事など11議案が原案どおり可決し、1件を報告しました。
なお、詳しくは、議会事務局 ☎0287-88-7114までお問い合わせください。

平成29年度予算を補正

一般会計の歳入・歳出をそれぞれ1億5075万3千円増額し、補正後の予算総額を11億9575万3千円としました。

主な内容は、財務会計システム及び人事給与システム再構築に伴うデータ移行業務に1270万円、草地造成や家畜保護施設整備を行うための畜産担い手育成総合整備事業として1億2771万円、烏山の山あげ行事がユネスコ無形文化遺産登録を果たした後の山あげ祭開催となることから、それを記念して大屋台パレードの実施やラジオの公開放送、交通誘導や駐車場警備を強化するための経費421万8千円などです。

次に、介護保険特別会計では、歳入・歳出を346万円増額し、補正

後の予算総額を25億5366万円としました。主な内容は、施設入所に伴う地域密着型介護予防サービス給付費の増額です。

条例の一部改正

・情報連携の対象となるマイナンバー1を利用する本市独自の事務について整理し、所要の改正をするため、「市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例」を一部改正しました。

・地方税法等の一部を改正する等の法律、地方税法施行令等の一部を改正する等の政令、地方税法施行規則等の一部を改正する省令及び地方税法施行規則等の一部を改正する省令が4月1日から施行されたことに伴い、固定資産税

において、企業主導型保育事業に係る課税標準の特例措置の創設及び家庭的保育事業、居宅訪問型保育事業及び事業所内保育事業に係る課税標準の特例措置について「わがまち条例」を導入するため、「市税条例」を一部改正しました。

・国民健康保険法施行令の一部を改正する政令が公布されたことに伴い、低所得者の国民健康保険税の軽減措置の対象を拡大し、5割軽減及び2割軽減の対象となる世帯の所得の基準額を見直すとともに、国保税の課税限度額の引き上げを行うため、「市国民健康保険税条例」を一部改正しました。

専決処分の承認

■平成28年度予算を補正

一般会計の歳入・歳出をそれぞれ6036万9千円増額し、補正後の

予算総額を12億3463万2千円としました。

主な内容として、歳入は地方消費税交付金や特別交付税の額の決定に伴う増額、旧江川小学校の売り払いに伴う財産収入の増額などです。歳出は、学校施設整備基金積立金5420万円、栃木県との市町村交流職員費負担金495万4千円などです。

次に、国民健康保険特別会計では、診療施設勘定の歳入・歳出を250万円減額し、補正後の予算総額を7214万7千円としました。

主な内容として、歳入は、七合診療所における高齢者分の診療収入の減額などです。歳出は、医薬品衛生材料費の精算に伴う減額です。

■条例の一部改正

地方税法等の一部を改正する等の法律、地方税法施行令等の一部

を改正する等の政令、地方税法施行規則等の一部を改正する省令及び地方税法施行規則等の一部を改正する等の省令が4月1日から施行されたことに伴い、軽自動車税におけるグリーン化特例の見直し、重点化を行い2年間延長するもの、市民税における肉用牛の売却による事業所得に係る課税の特例について、適用期限を3年延長するもの及び固定資産税における震災等により滅失した償却資産の代替特例規定の追加によるものなどを改正するため、「市税条例」の一部を改正しました。

人権擁護委員の人事

人権擁護委員の池澤裕氏が平成29年9月30日に任期満了となることに伴い、後任として新たに堀江功一氏を候補者として推薦しました。

議決事項

・県後期高齢者医療広域連合の議員定数を維持するため定数の定め方について規約変更を行うことから、県後期高齢者医療広域連合規約の変更について関係市町と協議することとしました。

・大金台林間住宅団地内の道路を

市道として認定することとしました。

その他

・平成28年度一般会計繰越明許費繰越計算書を調製し、行政情報化推進費218万6千円、臨時福祉給付金事業費954万7千9百円、畜産振興費1838万7千円、観光振興費230万1千

円、山あげ会館施設整備費1億2223万6千円、河川総務費777万1千円、南那須中学校施設整備費2620万円の7つの事業を繰り越したことを報告しました。

・市議会議長あてに提出された

「『青少年健全育成基本法の制定』を求める意見書提出に関する陳情」と『県立高等学校入学選抜で募集実施を求める意見書採択提出にかかわる陳情』が採択され、国会や関係行政庁へ意見書が提出されました。

那須烏山市教育委員会会報

29年度「第1四半期」4月～6月

第5回教育委員会(4月21日金)

○就学指定校の変更を承認

○区域外就学の許可を承認

○平成29年度市奨学生決定を承認

○平成29年度市立小中学校主任等を承認

を承認

○平成29年度市立小中学校評議員の委嘱を承認

○平成29年度市費非常勤講師等の配置を承認

○市社会教育指導員の任命を承認

第6回教育委員会(5月26日金)

○就学指定校の変更を承認

○区域外就学の許可を承認

○要保護及び準要保護児童生徒の認定を承認

○平成29年度市教育費予算の補正を決定

○平成29年度市教育費予算の補正を決定

○平成29年度市教育費予算の補正を決定

○平成29年度市教育費予算の補正を決定

を決定

▼その他の出席

・4月11日(火)・中学校入学式

・4月12日(水)・小学校入学式

・4月13日(木)・つくし幼稚園入園式

・5月9日(火)・塩谷南那須地区教育委員会連合会総会出席

・5月13日(土)・那須烏山市武道館竣工式出席

・5月27日(土)・南那須中、烏山中体育祭出席

・6月3日(土)・江川小、境小、烏山小、七合小、南那須特別支援学校春季運動会出席

おかえりなさいキハ40形

那珂川清流鉄道保存会が車両を展示中

JR烏山線を3月に引退したディーゼル気動車「キハ40形」の車両3両が、白久の那珂川清流鉄道保存会(岡一美代表)で展示されています。

烏山線のキハ40形は、昭和54年6月から運行。38年もの間、主に高根沢町の宝積寺駅から本市の烏山駅を運行してきましたが、製造から30年以上経ち、車両の老朽化などから各地で徐々に新型車両へと切り替えられ、烏山線も今年3月4日のダイヤ改正ですべて蓄電池駆動電車「アキム」に切り替えられました。

そこで、歴史的価値の高い鉄道車両を収集し動態保存などに取り組む同会では、JR東日本に車両の譲渡を要望。白と緑の1002番、赤の1005番、赤とクリームの1007番の3両を有償で譲り受け、5月20日(土)から21日(日)にかけて、福島県の郡山総合車両センターから同会に陸路で移送されました。

キハ40形が展示されてからは、鉄道ファンやキハ40形を利用して通学をしていた学生など大勢の人でにぎわっているそうです。

また、同会では、ほかにも全国各地から収集した車両100両以上を保管し、展示しています。

開館時間は、午前10時～午後4時。来場する場合は、☎0287-83-8099まで問い合わせてください。



展示されているキハ40形。

7月21日(金)・22日(土)・23日(日)は「山あげ祭」

ユネスコ登録で集まる注目

宇都宮に県内5市の屋台・山車が集結 仲町の屋台もパレードで市街地練り歩き

6月17日(土)、県内5市の屋台などが宇都宮市街地を練り歩く「お祭り屋台引き回しパレード」が、宇都宮市役所と県庁を結ぶシンボルロードなどで開かれ、本市の大屋台も参加しました。

このパレードは、2020年の東京五輪・パラリンピックに向けて本県の文化を発信する「とちぎ版文化プロジェクト」のラムリーディングプロジェクト事業

の一環として行われたものです。

宇都宮市役所をスタートしたパレードには、昨年、ユネスコ無形文化遺産に登録された本市の「烏山の山あげ行事」、鹿沼市の「鹿沼今宮神社祭の屋台行事」をはじめ、大田原、宇都宮、栃木市の屋台と山車がお囃子を鳴らしながら県庁を目指しました。この絢爛豪華な地域文化の共演を一目見ようと約2万人

もの人が集まり、にぎわいを見せました。

本市は、今年当番町である「仲町」の大屋台が台加。15日(木)まで県立博物館企画展で屋台や山などが展示されていたため、当日は早朝から仲町若衆のほか、他5町の若衆約50人が協力し、県立博物館から宇都宮市役所への運搬や組み立てを行いました。

踊り・常磐津、本番に向けての稽古順調に 県民の日には「戻り橋」を披露

山あげの舞台上で活躍する烏山山あげ保存会芸能部会の皆さんも本番を間近に控え、稽古にも熱が入ります。

本番の前に、踊りの指導をする西川扇士浪さんは、「ユネスコに登録されたこともあり、海外からの観光客が増えると思うので、世界に発信できるように舞台に臨みたい」。常磐津の指導をする常磐津津紫摩さんは、「大勢の観光客に少しでも喜んでもらえるように練習を重ね本番も一生懸命に取り組みた

い」と話していました。

屋台パレードが行われた17日(土)、県庁前では「県民の日記念イベント」が行われ、伝統芸能ステージとして、山あげでも披露される「戻り橋」を公演しました。会場となった県議会議事堂では、ステージが始まる前から客席は大勢の観客でいっぱい。迫真の演技で観客を魅了しました。



上：大勢の観客の中行われた屋台引き回しパレード

下：県民の日記念イベントで「戻り橋」を披露。



山あげ保存会芸能部会の皆さん。

11月に 山あげ俳句全国大会

「烏山の山あげ行事」が昨年12月にユネスコ無形文化遺産に登録されたことを記念し、11月26日(日)に烏山公民館を会場に「那須烏山市山あげ俳句全国大会」を開催します。市内で全国規模の俳句大会が開催されるのは13年ぶりとなります。

市内では、1989～2003年に「早野巴人顕彰全国俳句大会」が開かれ、14年には「ねんりんピック栃木俳句大会」の会場となりました。江戸時代には市出身の俳人、巴人が江戸俳壇の俳人に依頼し、朝日山、中川(那珂川)、比丘尼山、赤垂湖、五郎山、大沢、興野山、桜井里といった「烏山八景」の吟詠を奉納しています。現在では、八景を詠んだ8基の句碑が建立されており、本市は昔から俳句に縁のある地域です。

今回開かれる全国大会は、俳句誌「こだち」編集者で「広報なすからすやま」俳句選者の齋藤穂さんなどが、昨年、「烏山の山あげ行事」がユネスコ登録されたのを機に、13年途絶えていた全国大会開催を決意。2月に実行委員会を発足しました。

大会当日は、黒田杏子氏、今瀬剛一氏、山崎聡氏、速水峰邨氏の4人を選者として招きます。応募は、8月15日(火)まで。自作未発表雑詠2句1組で受け付けます。

詳しくは、市ホームページをご覧ください。また、市文化振興課(☎0287-88-6224)までお問い合わせください。



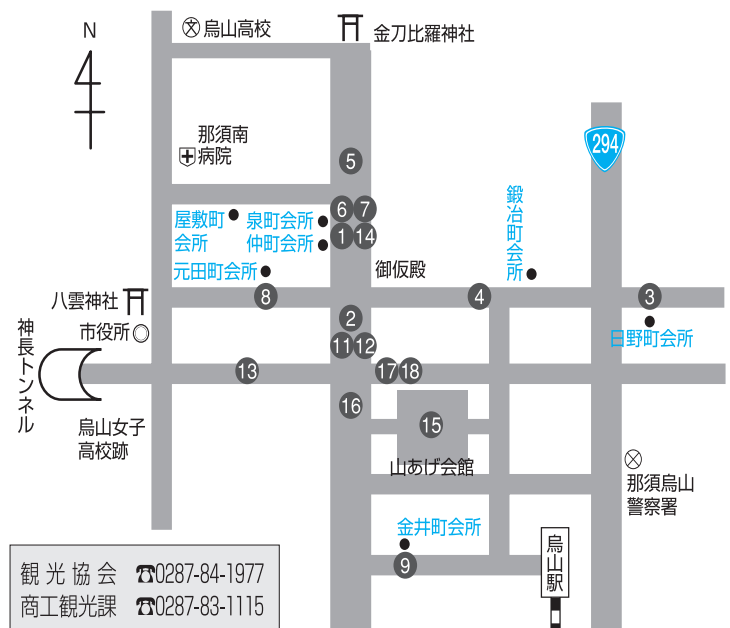
山あげ祭 奉納余興の開演予定時刻及び場所

順	日	開演予定時刻	芸 題	場 所	山の向き	
1	20	午後 7時00分	三番叟・戻橋	仲町 会所前	南	
2	21	午前10時00分	戻橋	仲町 御仮殿前	北	
3		午後 0時30分	戻橋	日野町 会所前	西	
4		午後 3時00分	戻橋	鍛冶町 美与志堂前	東	
5		午後 5時30分	戻橋	泉町 石原食肉店前	南	
6		午後 7時30分	将門	仲町 ますや洋品店前	南	
7		午後 8時30分	戻橋			
8	22	午前10時00分	戻橋	元田町 会所前	西	
9		午後 0時30分	戻橋	金井町 JR烏山駅前	東	
10		午後 3時00分	ユネスコ無形文化遺産登録記念 全町大屋台パレード			
11		午後 6時00分	戻橋	仲町 アラマン前	南	
12		午後 7時00分	乗合船			
13		午後 9時30分	将門	仲町 渡辺呉服店前	東	
14		午前10時00分	将門	仲町 新庄前	南	
15		午後 0時00分	戻橋	金井町 山あげ会館	東	
16	23	午後 2時00分	戻橋	仲町 島崎酒造前	北	
17	23	午後 7時30分	戻橋	仲町 松月前	西	
18		午後 9時00分	関の扉・千秋楽			

- 出御 7月21日(金) 午前6時30分 八雲神社出発
- 渡御 7月22日(土) 午前7時00分 御仮殿出発
- 還御 7月23日(日) 午後5時20分 御仮殿出発

※開演予定時刻及び芸題等は、変更することがあります。

●ブンヌキ 御仮殿前 22日(土) 午後4時00分頃
八雲神社鳥居前 23日(日) 午後6時00分頃
各町屋台が一堂に会し、笛・鉦・太鼓の打ち合いが行われます。



観光協会 ☎0287-84-1977
商工観光課 ☎0287-83-1115

災害時の協力体制と地域見守り

市内郵便局と連携を強化

市と市内郵便局では、「災害発生時における那須烏山市と那須烏山市内郵便局の協力に関する協定」と「地域における協力に関する協定」の2つの協定を締結し、6月1日から施行開始しました。

このうち、災害発生時における協定は、旧南那須町では平成9年に南那須郵便局と、旧烏山町では平成10年に烏山郵便局とそれぞれに災害時の協力に関する協定を締結していましたが、合併後、市として、改めて協定の締結をしました。災害時における協定では、緊急

車両等としての車両の提供、被災者の避難所開設状況及び避難先リスト等の情報の相互提供、郵便局ネットワークを活用した広報活動などを行います。

また、新たに締結をした「地域における協力に関する協定」では、住民が安心して暮らせる地域社会づくりを目的に、高齢者や障がい者、子どもなどの何らかの異変に気付いた場合や道路の異状を発見した場合、不法投棄と疑われる廃棄物を発見した場合などの情報を提供してもらいます。

栃木県消防救助技術大会 ロープブリッジ渡過で優勝、全国へ

南那須地区広域行政事務組合消防本部では、6月23日(金)、県消防学校で行われた「第43回栃木県消防救助技術大会」において「ロープブリッジ渡過」に出場した消防士・佐藤和馬さんが優勝し、全国大会出場が決まりました。

この大会は、複雑多様化する災害において、救助技術の向上と各町間の消防連携意識を高めるために毎年開かれているものです。

当日は、ロープブリッジ渡過のほか、引揚救助、ほふく救出など5種目7チーム18人が出場。全国へは1種目のみとなりましたが、引揚救助で3位入賞、そのほか3チームが10位以内に入賞するなど日頃の訓練の成果を発揮しました。

今回、全国大会出場を決めたロープブリッジ渡過とは、水平に展開した往復40メートルの渡過ロープを往路はセーラー渡過、復

向田・落合地区で避難訓練 住民の防災意識高める

国土交通省と都道府県では、防災・減災の取り組みの一環として、梅雨を迎える毎年6月を「土砂災害防止月間」と定めています。その取り組みの一つとして、6月4日(日)を中心に、全国各地で住民や市町村、都道府県、防災関係機関などが連携し、「土砂災害・全国防災訓練」を実施しました。

本市でも、向田体育館を会場に向田・落合地区の避難訓練が開かれ、地域住民171人が参加しました。

当日は、大雨により土砂災害警戒情報が発令され、土石流の危険が発生したという想定で、市から避難勧告を発令。消防署、地元消防団の車両による広報や防災メールにより住民へ避難指示をし、住民らは避難を

開始しました。

避難所の向田体育館には、徒歩やバイク、自家用車などで避難してきた住民が集まり、避難経路などを確認しました。また、災害による被害

のおそれのある地域や避難情報掲載したハザードマップの確認や、野外での炊き出し訓練なども行われ、防災意識の向上を図りました。

向田行政区長の荒井清茂さんは、「訓練をやってみて課題をたくさん見つけることができた。これからも地域で協力して災害時に備えたい。また、要介護者や独居老人の避難体制についても考えていきたい」と話していました。



ハザードマップを確認する参加者。



炊き出し体験です。とん汁を提供。





市指定有形文化財(絵画)
弁天星祭図(個人蔵)

作者は、下野国益子(現・益子町)出身の絵師小泉斐です。縦184cm、横90cmの墨絵で、図左上の墨書きから文化9年(1812)頃の作品と推測されます。

北斗七星を陰陽道の解釈により描いたもので、七福神のうち弁財天、寿老人、毘沙門天の神々が夜空に漂う姿を表現し、財宝・延命・学芸・智恵などの福德を祈願する星祭の図となっています。神々の優雅な姿や温かな表情など、小泉斐の優れた技法により幻想的で格調高い作品に仕上げられています。



大和本部長から表彰状を受け取る受賞者。

市スポーツ少年団 優秀選手を表彰

5月16日(火)、「市スポーツ少年団表彰」が市役所南那須庁舎で行われ、6人が表彰されました。

これは、団活動で意欲的に努力し模範となる団員や、県予選で入賞または県予選を勝ち抜き関東・全国大会へ出場した団員を表彰するもので、今年が初めて。当日は、市スポーツ少年団の大和勝夫本部長から受賞者に表彰状が手渡されました。受賞者は次のとおりです。
【模範団員】塩田優介(南那須柔道)
【優秀競技者】生魚瑠那(白雲会空手道)、五十嵐未来(同)、大輪莉央(同)、荒井萌維(同)、鈴木佳実(安倫剣道)

県大会激励会での訓練の様子(上)・全国大会出場を決めたロープブリッジ渡過の佐藤さん(下)・引揚救助に取り組み選手たち。



路はモンキー渡過という渡り方で、安全確実性と所要時間を競うものです。

全国大会は、8月23日(水)、宮城県利府町にある宮城県総合運動公園で行われます。

社協で講演会 災害ボランティアの知識深める

市社会福祉協議会では、災害時に地域で支え合う体制づくりを進めるために、「災害支援ボランティアネットワーク」の輪を広げたいです。その活動の一環として、今年2回目となる「災害ボランティアを学ぶ会」が6月10日(土)に保健福祉センターで開かれ、地域住民28人がボランティアの心得などを学びました。

この日は、元滋賀県高島市社会福祉協議会事務局長の井岡仁志さんを講師に、災害支援ボランティアネットワークと地域住民の役割について講話が行われました。高島市で行われているワンコインカ

フェの活動が紹介され、「防災も見守り活動も一緒。被害が出てからではなく、いざという時の目線合わせを日ごろから行い、日常の予防的取り組みを進めることが大切」ということを参加者に訴えかけました。その後、地域住民とボランティアの役割についてのグループワークが行われ知識を深めました。また、5月20日(土)に行われた第1回の学ぶ会では、市内外のボランティア活動者の体験発表が行われ、実際に体験した生の声に参加者は耳を傾けました。そして、第3回は、7月2日(日)に大桶運動公園で行われた南那須地区総合水防

訓練に参加し、学んだことを生かし、災害ボランティアセンター設置運営訓練などを行いました。



役割について話し合ったグループワーク。

子どもたちに思いやりの心を 荒川小に人権の花を贈呈

5月31日(水)、荒川小学校で「人権の花」の贈呈式が開かれ、宇都宮人権擁護委員協議会那須烏山支部会から同校にメランポジウムの苗144株が贈られました。

これは、子どもたちが花を育てることで命の大切さを感じ、豊かな心を育んでもらおうと毎年市内の小学校に向けて行われているものです。

この日は、同部会3人が同校を

訪れ、児童に苗を手渡ししました。

同支部会の小鍋法仁さんが、「みなさんの手ですくすくと育て、立派な花を咲かせてほしい」とあいさつ。それを受けて児童代表の6年の羽藤夏輝さんは、「みんなで大切に心を込めて育てるので、花が開くころに見に来てください」とお礼の言葉を述べました。

寄贈された苗は、同校の花壇に植えられ子どもたちが育てます。



宇都宮人権擁護委員協議会那須烏山支部会から児童へ苗が手渡される。

南那須中で思春期ふれあい体験教室 命の尊さや子育ての大変さを学ぶ

6月19日(月)・6月20日(火)南那須中学校の3年生94人が「思春期ふれあい体験教室」を受講しました。この教室は、母子とのふれあいを通して、命の尊さや乳児の特徴、子育てについて学ぶこと、そして思春期の体・脳・心の特徴や性感染症の危険性について理解することなどを目的として、毎年市内の中学校3年生を対象に開かれているものです。

生徒たちは、市の助産師から生命誕生や、性感染症、人工妊娠中絶



赤ちゃんをあやす生徒たち。

などの講義を受けたほか、妊娠疑似体験や人形を使って赤ちゃんのだっこの仕方を練習しました。その後、子育て中の母親と生後約1年前後の赤ちゃんが加わり、だっこやミルクをあげる体験などを行いました。

本多美織さん(東原)は、「赤ちゃんは想像していたよりも重く驚いたが、とてもかわいかった。今回の体験で、子育ての大変さ、命の尊さがよくわかった」と話していま

ジオパーク構想教室 火山灰は宝石箱??



ました。当日は、県立博物館の岡本直人さんを講師として迎え、「火山灰は宝石箱」をテーマに、火山灰に含まれる石英、黒雲母、斜長石などといった鉱物を顕微鏡などで観察しました。参加者は普段肉眼ではなかなか確認することができない輝きある鉱物に興味津々。「宝石みたい」という声も飛び交っていました。

那須烏山ジオパーク構想推進協議会では、県立博物館連携事業の一環として、6月10日(土)、南那須公民館でジオパーク構想教室を開き

親子で参加していた鴻野山の塚越小百合さんと荒川小1年の百世さんは、「実際に鉱物に触れ、体験することができて良かった。キラキラと輝く鉱物を見て、さらに興味を湧いた」と話していました。



上：顕微鏡で鉱物を確認する参加者／下：火山灰から鉱物を取り出す作業に夢中。

今後、同協議会では、7月30日(日)に「ジオサイトバスツアー」、11月11日(土)、翌年1月27日(土)には「ジオパーク構想教室」の開催を予定しています。詳しくは、広報お知らせ版やホームページでお知らせします。

奮闘記

本市では、昨年、地域おこし協力隊員として3人を任命しました。「地域おこし協力隊」とは、都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を異動し、生活の拠点を移した者を、地域おこし協力隊員として委嘱するもの。隊員は一定期間、地域に居住して、地域の課題解決、地域活性化等「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取り組みです。

3人は、まちを元気にしようと日々奮闘しています。そこで、今月号から、協力隊員の活動を定期的に掲載していきます。

社会との繋がりを持つ場づくり

市田 久美子

市内には出産を機に仕事から離れ、家庭で育児に追われる日々を過ごす主婦の方が結構いらっしゃると思っています。育児にしっかり向き合える一方で、地域、社会との関わりが希薄になるという課題があります。そのような人達が、自分の空き時間(労働力)や空いているスペース、余っている食資源を活用し、何か社会と繋がる活動がしたいと思い、4月から不定期で“火よう日のごはん”(金井町2-14-2)という飲食イベントを実施しています。育児の合間の数時間、外に出て働くことで少しでも社会との繋がりを感じてもらいながら息抜きになったらと思っています。今後はこの活動を多くの市民の方に知ってもらい、活動を継続していけるように様々な方面からご支援いただければ幸いです。

次回の開催は7月11日・25日(火)11時30分～を予定しています。



コーヒーを提供する市田さん。



ラジオ収録をする田中さん。

目指す山の頂は「笑える那須烏山」

田中 勇人

今、私はインターネットを活用してラジオ番組を配信しています。YOUTUBEに毎週一回、名前は「今夜も八溝」。近隣市町の協力隊と連携して“地元をおもしろがる”をコンセプトに番組を作っています。

なぜ、そんなコンセプトなのかと言いますと「地元が好きだ」という想いを持った人を増やし、その想いを大きくしていきたいからです。

そのためには“地元を楽しむ”ことが必要になってくると私は考えました。

この那須烏山を皆さんにとって“住む”場所から“暮らす”場所へ。そんな理想のために日々活動しています。

一度ラジオをお聞きいただき、少しでもクスッと笑っていただけたら幸いです。(ゲスト出演していただける方募集中です!)

「暮らし」に焦点をあてたメディアへの挑戦

榎本 真紀子

私は現在、ローカルメディアサイト(ホームページ)を作成して市の情報、特に「暮らすこと」をテーマとして紹介し、それを市の魅力として発信していきたいと考えています。はじめはホームページの作成を外部に委託しようと思いましたが、「作ることから自分でやってみよう」と思いたち、現在作成中です。載せたい記事や取材したい人など、100個以上考えていますので、皆さん取材や写真撮影にご協力お願いします。

このホームページが市の魅力の再発見・発掘につながり、ここで紹介する「ヒト」「モノ」「コト」とおして、皆さんが那須烏山市をもっと愛せるようなホームページ作りをしていきたいと思っておりますので応援よろしくをお願いします!



地域住民に取材をする榎本さん。

空手道、卓球で関東・全国大会へ

スポーツで大活躍

■空手道

白聖会空手道スポーツ少年団所属の境小4年の大輪莉央奈さん（下境、七合小5年の五十嵐未来さん・天桶、七合小2年の荒井萌維さん・興野）が「第36回栃木県空手道少年錬成大会」でそれぞれの学年の女子組手の部で準優勝しました。

3人は、7月2日（日）に神奈川県藤沢市秋葉台体育館で行われた「第6回関東青少年空手道選手権大会」に出場。大輪さん、荒井さんがベスト16となりました。また、8月5日（土）、6日（日）に東京都の東京武道館で行われる「第17回全日本青少年空手道選手権大会」にも出場します。

全国大会を前に、2年連続で出場する大輪さんは「代表として練習に励み勝ちたい」、五十嵐さんは



左から、五十嵐さん、荒井さん、大輪さん。

「1回でも多く勝ちたい」、荒井さんは「もつと練習して強い相手に勝ちたい」と意気込んでいました。

さらに、大輪さんは「第13回栃木県スポーツ少年団空手道大会」の小学4年生女子組手の部で相手に1ポイントも譲らず3試合すべてで高得点となる上段回し蹴りを決め優勝。7月28日（金）～30日（日）に埼玉県で行われる「第36回関東プロックススポーツ少年団競技別交流大会（空手道）」に出場します。

卓球の「第36回全日本クラブ選手権大会県予選会」で小・中学生男子の部で小川スポーツ少年団が準優勝し、選手として出場した南那須中3年の中田怜哉さん（藤田）、烏山中3年の大野希心さん（大桶）、その兄弟の七合小6年の大野帆琉さ

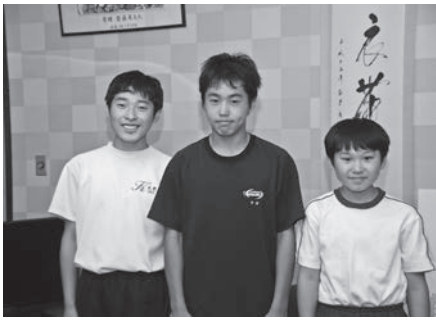
■卓球

ねりんピック全国大会の予選となる「ねりんピックとちぎ2017」でゲートボール、ソフトボールの2種目において本市で活動するチームが優秀な成績を収め、9月9日（土）～12日（火）に秋田県で開かれる「ねりんピック秋田2017」に出場を決めました。

ゲートボールでは、南那須クラブが県予選で準優勝。ソフトボールでは、烏山クラブシニアが10年ぶり2回目となる優勝を勝ち取り、全国大会への切符を手に入れました。

南那須クラブの上条栄子さんは、「1勝でも多く勝って上位を狙いたい」と話し、烏山クラブシニアの主将・海老原清美さんは、「10年前出場した時は3回戦止まりで悔しい思いをした。良い成績を収めたい」と話していました。

また、南那須クラブでは、千葉稔さんが92歳で大会への出場を決め、話題となっています。



左から、大野（希）さん、中田さん、大野（帆）さん。

ん天桶が、7月14日（金）～17日（月）祝に広島県立総合体育館で行われる「第36回全日本クラブ卓球選手権大会」に出場します。

ゲートボール、ソフトボールでねりんピック秋田に出場

ねりんピック全国大会の予選となる「ねりんピックとちぎ2017」でゲートボール、ソフトボールの2種目において本市で活動するチームが優秀な成績を収め、9月9日（土）～12日（火）に秋田県で開かれる「ねりんピック秋田2017」に出場を決めました。

ゲートボールでは、南那須クラブが県予選で準優勝。ソフトボールでは、烏山クラブシニアが10年ぶり2回目となる優勝を勝ち取り、全国大会への切符を手に入れました。

南那須クラブの上条栄子さんは、「1勝でも多く勝って上位を狙いたい」と話し、烏山クラブシニアの主将・海老原清美さんは、「10年前出場した時は3回戦止まりで悔しい思いをした。良い成績を収めたい」と話していました。

また、南那須クラブでは、千葉稔さんが92歳で大会への出場を決め、話題となっています。

また、南那須クラブでは、千葉稔さんが92歳で大会への出場を決め、話題となっています。

全国大会では、シングルス、ダブルスの5試合に挑みます。全国へは初出場という3人。中田さんは「1点1点集中して頑張りたい」、

大野（希）さんは「まずは1勝したい」、大野（帆）さんは「1点を大切に勝ちたい」と話していました。



市長訪問に訪れた、南那須クラブ（上）と烏山クラブシニア（下）の皆さん。

出場メンバーは、次のとおりです。（敬称略、順不同）

■南那須クラブ：上条栄子（小倉）・千葉稔（上境）・雲正（南大和久）・板橋トミ子（南大和久）・高橋佳枝（小倉）
■烏山クラブシニア：国井登（初音）

海老原清美（中央2丁目）・園城直次（中央2丁目）・石川博郷（上境）・川島輝夫（野上）・磯孝信（下川井）・久保田善

（城東）・斎藤和彦（中央1丁目）・渡辺洋一（上境）・桑名昌美（中央2丁目）荒井文雄（小原沢）他4人は市外。

南那須地区で初

剣道・県大会で3位入賞

南那須宏倫剣道スポーツ少年団に所属する南那須中3年の滝口泰弘さん（志鳥）が、「第32回道場少年

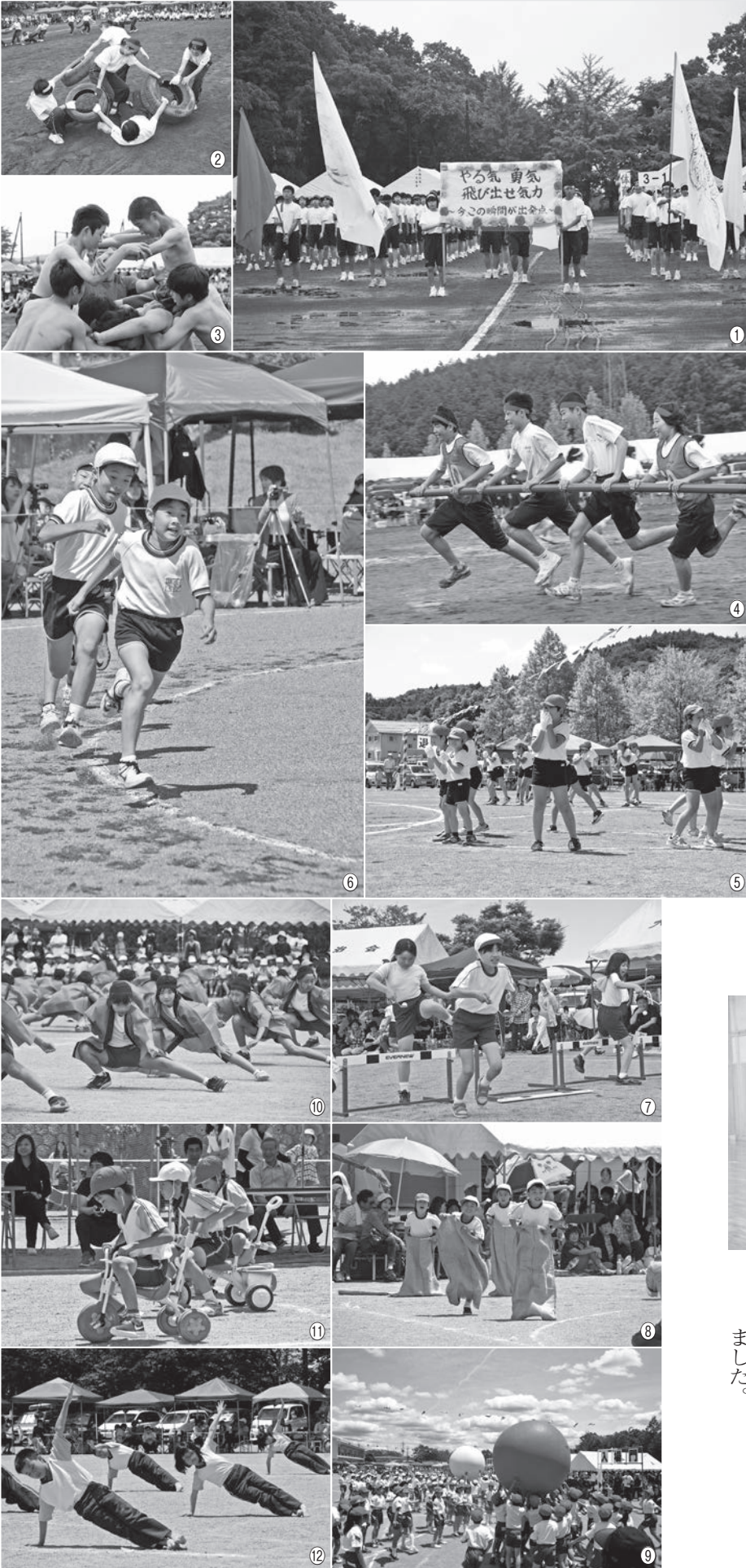
剣道大会」中学生男子個人の部で3位入賞を果たしました。同大会は、県内各道場から選抜

小・中学校6校で

スポーツの祭典

6月に入り、市内6つの小・中学校で運動会や体育祭が開かれました。それぞれの学校では、家族や地域住民が見守る中、徒競走や障害物競争、ダンスなど様々な競技が行われ、児童や生徒は額に汗をにじませながら、懸命に競技に取り組みました。その様子を写真で紹介します。

①②鳥山中、③④南那須中、⑤⑥江川小、
⑦⑧七合小、⑨⑩鳥山小、⑪⑫境小。



滝口さん(右)。

メンバーが出場するもので、県の中でも大きな大会。関係者によると、この大会に限らず南那須地区では、中学生で3位以内に入賞した選手は過去にいなかったといいます。

滝口さんは、「2位以上に入れば全国大会に出場できたので、悔しかった。これからは稽古を積み、良い成績を残したい」と話しています。

幻想的な光に包まれて

ほたるイベント盛んに

市内各地でほたるの保全などに取り組む団体が、ほたるまつりや鑑賞会を行いました。環境汚染などでホタルが減少する中、それぞれの団体では、市内の豊かな自然を守ろうと、ほたるが生息できる環境づくりに取り組み、今年も多くのほたるが夜空を飛び交いました。

横枕ほたる祭り

横枕青年団(生魚貫宏団長)による「第8回横枕ほたる祭り」が6月10日(土)、横枕文化伝承センターで開かれ、地域住民など約300人が訪れました。

恒例となった自然観察会では、環境カウンセラーと一緒に、会場付近の水路で水生生物や動植物などを採集し、観察。珍しい生物に大喜びする子どもたちの姿が見られました。

また、今年は初めて陸上サッカー教室を開催。箱根駅伝出場者で市職員の小堀佑真さんをはじめ、箱根や様々な大会の出場者、東京ベイU-18所属の現役サッカー選手など8人を講師に迎え子どもたちは速く走るための体の使い方やドリブルの仕方などを学びました。

日が暮れる頃には、「ほたるカフェ」がオープン。手作りケーキや紅茶が振舞われ、幻想的なほたるの光を眺めながら楽しい時間を過ごしました。

おおぎす ほたるの夕べコンサート

6月10日(土)、大木須オムラサキ公園で大木須里山を愛する会(堀江一

慰代志)による「第13回ほたるの夕べコンサート」が開かれました。

会場では、宇都宮市で活動する音楽団体「W-Wave(ワイヴ)」による南米の音楽「フォルクローレ」のコンサートが行われ、宇都宮大学の学生が制作した灯るうの温かな光が客席を照らす中、市内外から訪れた約350人が陽気な音楽を楽しみました。地域スタッフの手作り料理は毎年大人気で、この日も、ふかした新じゃがやピザ、かき氷などが販売され好評を博しました。

そして、午後8時頃になると、迎りの水路には無数のほたるが現れ、大勢の来場者の目を惹きつけました。

また、同会では、6月3日(土)～7月2日(日)まで同公園に「ほたる案内所」を設置しました。期間中には1080人も観光客が訪れ、会員らが、ほたるの生息地へと案内しました。

興野ほたるの夕べ

6月11日(日)には、興野ほたるの里づくり環境保全会(粟野隆夫会長)による「ほたるの夕べ」が興野集会所で開かれ、地域住民など約90人が訪れました。

今年新しい取り組みとして、オリジナルのTシャツを製作し、

イベントの参加者に配布したほか、音楽家の岡倉ゆかりさんによるコンサート、同会で考えたウォーキングコースでの生き物調査や水路のクリトシ作戦など様々な催しが行われました。

また、同会では、年間を通してほたるが生息する水路の環境保全活動を行っています。6月1日(木)に地区内の4か所のほたる生息地の調査では、過去最高のほたるが確認できました。

猿久保田んぼ公園 ほたる鑑賞会

荒川南部地域保全会(阿久津忠一会長)による「ほたる鑑賞会」が、6月17日(土)、小埜の猿久保田んぼ公園で開かれ、子どもから大人まで約70人が参加しました。

公園へ向かう沿道には、ほたるが参加者を歓迎するかのよう現れ、「わっさい」と子どもたちの歓声が響きわたりました。また、同公園付近には、JR烏山線が通っているため、ほたると烏山線の車両「アキム」をカメラに収めようと大勢のカメラマンでにぎわいました。

今年、例年になく、ほたるが現れた同公園。年々、増えているように、また来年が楽しみです。



生き物調査(興野)。



サッカー教室(横枕)。



ほたるを観察(猿久保田んぼ)。

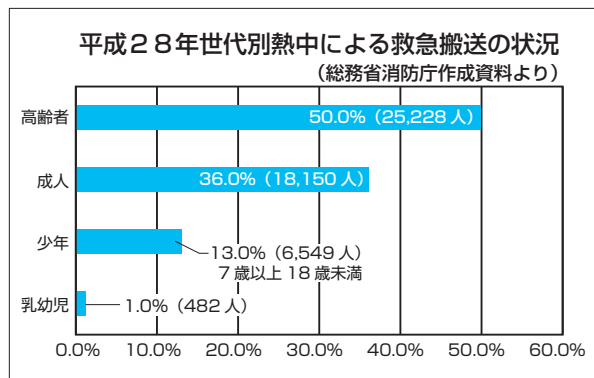


フォルクローレコンサート(大木須)。

けんこうコラム④ なんぼでも★Let's 健活 けん かつ

熱中症を予防しましょう

昨年度、全国で約5万人が熱中症で救急搬送されました。梅雨明け直後や梅雨の晴れ間など、急に気温が上がることで熱中症の危険が高まります。普段の生活を見直し、日頃から注意していき熱中症を予防しましょう。



■部屋の中なら大丈夫？

「屋内に居るから大丈夫」と思いがちですが、熱中症の約4割が屋内で起きています。すだれやカーテンで直射日光を遮る、換気をして野外の涼しい空気を入れるなど部屋に湿気と熱がこもらないようにしましょう。また室内の温度や湿度が分かるよう温度計を準備しましょう。

■「夜中にトイレに行くのが面倒だと思いませんか？」

寝ている間にもコップ1杯程の汗をかいています。「夜中にトイレに行きたくない」と、体に必要な水分の補給を我慢することは脱水の危険につながります。寝る前に水分を取ってから休むようにしましょう。

■水分摂取のポイントは、「のどが渴く前に」

◎年代別水分補給の目安

- ・小中高生…自由に水分を摂取するよう、保護者または指導者が指導し、制限しないようにしましょう。
- ・成人…のどの渴きを感じる前に摂取するようにしましょう。
- ・高齢者…1口の量は少なくても、こまめに水分補給を行いましょ。介護が必要な人には、介護者が定期的に水分を摂取させるよう心がけましょ。

■活動内容で水分摂取を変えましょ。

- ・通常の水分補給⇒水・麦茶など甘くない飲み物
 - ・屋外での活動⇒スポーツドリンク
 - ・脱水状態・下痢・嘔吐⇒経口補水液
- ※アルコールは利尿作用があり、脱水を促進してまします。

～高齢いきがいグループ 保健師より～

消費者コラム④

消費者ほっと♥らいふナビ

ネット利用2歳で3割

内閣府が行った10歳未満の子どものインターネット利用に関する実態調査の結果です。1歳で9.1%という数字にも驚きですが、ここまでネット利用の低年齢化が進んでいます。保護者の皆さんは、自分の子どもがどのようにネットを利用しているか把握していますか？ネットの危険からお子様を守るためにも、保護者が行うべき3つのポイントをご紹介します。

被害者にも加害者にもならないために！
適切なネット利用を促ましょ！



子どもにスマートフォン等を持たせるときは、ただのプレゼントやご褒美としてではなく「なぜ必要なのか」「どう使うのか」を話し合うことが大切です。「緊急連絡」「学習のための調べもの」といった利用目的を決め、子ども自身に「スマートフォン等を持つ必要性と責任」を自覚させるためにも、ネットの特徴・危険性・個人情報を守る必要性などを説明し、危機意識を持たせましょ。



家庭のルールは子どもと一緒に！

ルール作りは保護者の一方的な押しつけではなく、子どもと一緒に利用場所・時間帯等を話し合って決めることが大切です。成長と共に少しずつ改定する必要もありますし、ルールやマナーを守る習慣を身に着けさせるためにも、利用状況を定期的に確認ましょ。

大事なのは人間のフィルタリング！

有害情報へのアクセスを制限する「フィルタリング」を活用することはもちろんですが、それよりも大事なのは、保護者による「人間のフィルタリング」です。子どもの変化とSOSに気づき、トラブルが起きたら適切なアドバイスができるようにましょ。



これから楽しみな夏休みを控え、子どもたちの気も緩みがちになります。私たち保護者も子どもと一緒に話し合い、ネットのことを勉強してみてもどうでしょうか。

那須烏山市消費生活センター
(烏山庁舎1階、商工観光課内)

【専用電話番号】0287-83-1014 【受付時間】平日9:00～12:00、13:00～16:30
※土・日曜日及び祝日は「消費者ホットライン☎188(局番なし)」へご相談ください。

子どもたちが泥んこ田んぼで古代米の田植え

泥んこ田んぼ体験事業に取り
組む七合会(木村保司会長)と大桶
地域みどり保全会(木村義二会長)
では、大桶下地区内の水田で、5
月28日(日)、古代米の田植え体験



大勢で古代米の田植えを体験。

を開きました。
17回目となるこの体験には、
ボーイスカウトやガールスカウ
ト、若鮎クラブ、風の顔らんども、
桔梗寮の子どもたちなど約20



魚のつかみ取りを楽しむ子どもたち。

0人が参加。子どもたちは、
泥だらけになりながらも古代
米など4種類の苗を丁寧に植
えました。

その後行われた魚のつかみ
取りでは、那珂川中央漁業共
同組合の協力でマス約300
匹が隣接する水田に放流さ
れ、素早く逃げる魚を懸命に
追いかけて捕獲する子どもたち
の姿が見られました。

また、昼食には地域のボラ
ンティアが手作りした「とん
汁」や「おにぎり」が振舞われ、
田植えで疲れた体を癒しまし
た。

興野農産物直売所「新じゃがいもまつり」 「バケツいっぱいじゃがいも掘り」

6月4日(日)、興野農産物直売
所(船橋一夫組合長)で「新じゃが
いもまつり」が開かれました。

直売所に隣接する畑では、
じゃがいも掘りが行われ、過去
最多の500人を超える来場者
が、バケツいっぱい新じゃが
を収穫しました。このほかにも、
大なべで作った肉じゃがの無料
サービスや、餅つき体験、新鮮野
菜やつきたて餅の販売が行われ

好評を博しました。

初めて参加したという栗野博明
さん(興野)は、「初めてじゃがい
も掘りを体験して、とても楽し
かった。また来年も参加したい」
と笑顔を見せていました。

また、船橋組合長は、「じゃが
いもがどのようにできて、どの
ように収穫するのかを知り、楽
しんでもらえたらうれしい」と
話していました。



じゃがいも掘りに挑戦する参加者。



まちのわだい

◇「広報なすからすやま」では、みなさんからの楽しい話題
を募集しています。地域の行事や変わった出来事などをお
知らせください。可能な限り取材に伺います。

総合政策課広報統計グループ ☎0287-83-1112

大桶の高野ミセさん 100歳おめでとうございます

大桶の高野ミセさんが6月12日
(月)、満100歳を迎えました。

現在、市内の介護施設で過ごし
ている高野さん。当日は息子さん



100歳を迎えた高野さん。

もお祝いに駆けつけ、施設の皆
さんと一緒に手作りケーキを食
べながら100歳を祝いました。
高野さんは、「知らないうちに
100歳になっていた。みなさ
んのおかげでここまでくること
ができ、元気でいられてありが
たい」と話していました。また、
長寿の秘訣を尋ねると、「好き嫌
いせずに食べる」と笑顔で
答えていました。

第4のそば登場! 「八溝発芽そば」試食会



八溝発芽そばを味わう参加者。

6月13日(火)農事組合法人
ファーム興野(吉田幸一代表理事)
による「八溝発芽そば試食会」が
城東の「そば夢サロン梁山泊」で
開かれました。

この「八溝発芽そば」は同法人
が3年前から研究している新た
なそばで、夏そば、秋そば、寒ざ
らしそばに続く第4のそばとし
て期待されています。発芽させ
たそばの実を冷凍保存し、天日

または乾燥機で乾燥させた後に
製粉したもので、甘みのあるま
ろやかな味が特徴です。

今回の試食会には生産者と市
内のそば店、市・県の関係者約15
人が参加し、味や香りを確かめ、
販売するにあたっての課題点に
ついて意見交換をしました。

吉田代表理事は、「今後は、販
売店などと相談を重ね、前向き
に進めていきたい」と話してい
ました。

真っ赤な実がキラリ さくらんぼ狩り楽しむ

NPO法人クロスアクション(高橋誠一代表)による「さくらんぼ狩り&ピクニック」が、6月18日(日)に曲畑のさくらんぼ農園「ぼくちの樹」(川田輝男代表)で行われ、地域住民23人がさくらんぼ狩りを満喫しました。

農園には、佐藤錦や紅秀峰など11種58本が作付けされ、真っ赤に熟したさくらんぼがあちらこちらに実っていました。

参加者は狩り方を教わった後、さくらんぼ狩りを堪能。それが終わると、「いちご」や「ゆず」など本市産のフルーツを使った手作りソースでパンケーキを頬張り、ピクニックを楽しみました。



バラなどが咲き誇る大鐘さん宅の庭。



まるでバラ園! 森田の大鐘さん宅が話題に

5月下旬から6月上旬にかけて、森田の大鐘直平さんが庭で育てているバラが見ごろを迎え話題となりました。

妻のサキ子さんと15年くらい前から庭にバラなどの植物を栽培。年々その種類を増やし、現在では、約10アールの庭に赤やピンク、白、黄といったバラ120種類150本のほか、ギボウシやテッセン、クレマチスなど様々な草花が美しく生え、

丁寧に手入れされた芝との相性は抜群です。
ガーデニングのツアーポイントの一つとして、茨城県や新潟県など県外からも大型バスで観光客が来るほど人気を集めています。リピーターが多く、今シーズンには、約300人が訪れたそうです。
大鐘さん夫婦は、「また来年に向けて手入れをしていきたい」と笑顔を見せていました。

チャリティショーあやめまつり

5月28日(日)、烏山地区民俗文化奉仕協会(川俣伸会長)による



歌声を披露する出場者。

チャリティショー「あやめまつり」が開かれ、86組約100人が歌や詩吟、舞踊など日頃の練習の成果を披露しました。

今年で40回目となるこのチャリティショー。川俣会長は、「毎年開催できるのも皆さんのおかげ。冬のチャリティショーでは40回を記念して盛大にイベントを開きたい」と話していました。
また、集まった寄付金のうち、5万1329円は、市社会福祉協議会に寄附され、福祉の場で活用されます。

おめでとう

赤ちゃん名 (保護者住所)

- 滝沢 奏太 (祐希・千尋) 上境
- 板橋 杏奈 (洋・純子) 初音
- 上野 莉帆 (義裕・悠貴子) 神長
- 大窪 零之 (健之・菜摘) 下境
- 高野 煌葵 (亮一・百合大) 桶
- 高野 七翔 (史晃・華奈衣) 大桶
- 大場 実琴 (亮介・睦実) 上境
- 松本 愛莉 (優輝・麻美) 興野
- 矢口 優衣奈 (高幸・恵美子) 上境
- 本間 純 (真二郎・理恵) 中山
- 三田 滯 (新輔・智江) 旭1丁目
- 福田 凌 (信哉・温子) 中山

※ここでは、保護者等の了解が得られた情報のみを掲載しています。

スポーツの結果

- 第36回栃木県壮年ソフトボール大会
南那須支部予選会 (5月8日(月)、9日(火)、緑地運動公園)
▽優勝 荒川南 ▽準優勝 ことぶし台
▽第3位 藤田、八ヶ代
- 第40回烏山地区自治会親善ソフトボール大会 (5月10日(水)〜12日(金)、17日(水)〜19日(金)、烏山運動公園)
[男子]▽優勝 日野町自治会 ▽準優勝 野上自治会 [女子]▽優勝 野上神長自治会 ▽準優勝 境自治会
- 平成29年度春季男女混合市民バレーボール大会 (5月15日(月)〜19日(金)、南那須中学校体育館)

▽優勝 3ヨネックス ▽準優勝 からず
▽第3位 ポラリス

●第6回那須烏山警察署長・交通安全協会長杯クラブ・ゴルフ大会 (5月17日(水)、緑地運動公園)

[団体戦]▽優勝 大木須愛好会 ▽準優勝 蛇姫A ▽第3位 滝田A

[個人戦]▽優勝 大貫弘 ▽準優勝 川俣行夫、三村 英夫

●第9回那須烏山支部ナイター野球大会 (5月14日(日)〜28日(日)、緑地運動公園)

▽優勝 藤田クラブ ▽準優勝 烏山Red Sox ▽第3位 南大和オールスターズ、NISSIN&ANBJ

●第13回栃木県スポーツ少年団空手道交流大会 (6月4日(日)、栃木県南体育館)

[小学4年女子組]▽優勝 大輪利央奈 境小

●ねりんピックとちぎ2017 (5月16日(火)、陽南第1公園グラウンド)

[ゲートボール]▽準優勝 南那須クラブ (5月21日(日)、柳田緑地公園ソフト場)

[ソフトボール]▽優勝 烏山クラブシニア

●第32回栃木県道場少年剣道大会 (5月21日(日)、県南体育館)

[中学生男子個人]▽第3位 滝口恭弘 (南那須中)

●第10回那須烏山支部長杯野球大会 (6月4日(日)〜11日(日)、緑地運動公園、烏山野球場)

▽優勝 烏山ヤンガース ▽準優勝 藤田クラブ ▽第3位 FTクラブ、烏山Red Sox

●栃木県学童軟式野球大会市予選会 (6月10日(土)、烏山野球場)

▽優勝 烏山クラブ ▽準優勝 七合フアイターズ

●春季婦人バレーボール大会 (6月5日(月)〜6日(火)、南那須中学校)

▽優勝 からず ▽準優勝 四ツ葉 ▽第3位 のがみクラブ

▽第3位 のがみクラブ

褒賞

●人権擁護委員の表彰

▽全国人権擁護委員連合会長表彰 池澤裕 ▽宇都宮地方法務局長感謝状 小林洋子 ▽栃木県人権擁護委員連合会長表彰 栗正俊

ふるさと応援寄附金

●ふるさと応援寄附金
須田行雄様 (小山市) から5千円が本市に寄附されました。
杉本秀和様 (東京都目黒区)、林壮一様 (宇都宮市)、本郷拓様 (東京都杉並区)、田中義元様 (神奈川県横浜市) から1万円が本市に寄附されました。
坂井田雅代様 (愛知県小牧市)、小林徹様 (東京都豊島区) から3万円が本市に寄附されました。
村上巖様 (神奈川県横浜市) から5万円が本市に寄附されました。
匿名希望者様 32人から40万円が本市に寄附されました。

市立図書館図書寄贈

●市立図書館図書寄贈
海老根昭二様 (初音) から「明るいほうへ」那須・雲巖寺老師の「茶話」10冊が寄贈されました。

編集後記



○みなさん「ほたる」見に行きましたか？6月は、各地でほたるイベントが行われました。どの地域も水辺の手入れなど何年もかけて地道な保全活動が行っています。そのかいもあって、ここ数年でほたるが増えてきている？…というか、戻って来ているそうです。

○私は今年もほたるの撮影にチャレンジしてきました！結果は、去年よりも上達したかな？といった感じでも、上には上がいるわけで、プロの写真と見比べるとため息がでます(泣)。いつか、表紙をほたるで飾ってみたい！と思っています。

○7月は、ユネスコ登録後初めての「山あげ祭」。良い写真が撮れるよう今からイメージトレーニングします(笑) 中日の22日には、4年ぶりに全6町による全町大屋台パレードが行われるので必見です！日焼け・熱中症には注意してお越しくださいね。

○注意といえば、先日、新しい服を職場に着て行ったのですが、値札タグが付いたままでした…。誰にも気付かれないはず…。みなさんも注意してください！



Information

新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204
 烏山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

★図書館HPから新着図書が検索できます★
<http://www.lib-nasukarasuyama.jp/>

2017.6.1現在
 ()対前月比

人口 26,301(-69)

男 13,003 女 13,292
 出生 14 死亡 44
 転入 41 転出 80

世帯数 9,407

市の人口

※平成27年国勢調査を基に集計した統計人口です。

★一般図書★

『ポジティブ会議』 松岡 修造
 『定年まで10年ですよ』
 日経ヴェリタス編集部
 『子どもと食べたい常備菜入門』
 『ひとり上手』 菅野 のな
 『死ぬのめたいへんだ』 岸本 葉子
 『女系の教科書』 曾野 綾子
 『家康の遠き道』 藤田 宜永
 『人質オペラ』 岩井 三四二 荒木 源

★児童図書★

『みつけたよ!だんごむし』
 ひさかたチャイルド
 『10か国語でニッポン紹介』
 パトリック ハーラン
 『空をけっとばせ』 升井 純子

『ひみつの妖精ハウス』 ケリー マケイン
 『なんでもできる!?!』 五味 太郎
 『つまんないつまんない』
 ヨシタケ シンスケ
 『ねがえりごろん』 斉藤 洋
 『ママのて』 やまもと ゆうこ

◆CD◆

『LOVE, PEACE&FIRE』
 Superfly
 『ビギンの一五一会傑作選』 BIGIN
 『ゆずイロハ 1997-2017』 ゆず
 『÷ デイバイド』 エド・シーラン
 『四季彩-Shikisai-』 和楽器バンド
 『SACHIKO THE BEST』
 小林 幸子
 『ディズニー・チアリング・ソングス』
 Dream Ami ほか

文芸コーナー

俳句 齋藤 穂 選

鳥山線の蛙の目借時

走り茶や昔を語る夫は居ず 伊東 澄子(中央)

若草に乳房ゆらりと牧の牛 長山 裕子(旭)

おほらかに山をしとねの狸繁仏 小針 久子(月次)

川柳 平野 勝夫(向田) 篠崎 酔月 選

艶やかな着物姿に花吹雪

萩原 宜子(中央)
 グランドゴルフ急に元気になつてくる 羽石 妙子(向田)

農業に励み楽しい日を送り 吉田喜枝子(興野)

年輪の節目節目に老いを知り 川俣登志子(旭)

短歌 福澤 悦子 選

やらなくちや今出来る事できる時に年齢を重
 ねて初めてわかる 安藤 伯麗(旭)

川霧が頬を撫でゆく散歩道 遙か那須岳怖い
 山に見ゆ 鈴木 豊(谷浅見)

三坪の畑耕し苗を植え収穫夢見て日毎育てる
 早苗田を好みし歌友を偲びつつ思ひ出の
 庵より水面眺むる 須田 孝子(城東)

水上キヨ子(志鳥)

作品募集

毎月10日までに、総合政策課広報統計グループ
 (〒321-0692 那須烏山市中央1丁目
 1番1号)あて、郵送で作品をご応募ください。

29年度 コミュニティ助成 事業報告

財団法人自治総合センターの平成29年度コミュニティ助成事業(宝くじの助成)を活用し、小木須自治会では、木須の郷交流館に冷暖器3台を整備しました。
 ■まちづくり課 ☎0287-83-1151



まかせて安心!!

三井住友海上代理店

(有)しおや保険事務所

- ◇損害保険: GKくるま・自賠責・GKすまい・地震
- ◇生命保険: 新総合収入保障・新医療保険・三大疾病
- ◆お問合せ: 〒321-0526 那須烏山市田野倉383

☎0287-88-9870

FAX:0287-88-0234

ボランティアサークル

広報「なすからすやま」では、鳥山高校の部活動等で頑張る生徒を紹介します！



平成25年に結成したボランティアサークルは現在17人で活動しています。今までに、市内のボランティア団体と一緒に、東日本大震災で被害にあった宮崎県石巻市でのボランティア活動や熊本地震の募金活動、南那須特別支援学校との交流活動などを行いました。

また、昨年度からは、社会福祉協議会のプロジェクトに参加し、健康福祉まつりなどで集まった募金を活用し、高齢者に向けて行われている配食サービスの手伝いをしました。今年は、新たに災害・防災について学び、それを放課後児童クラブを利用する子どもたちに伝える活動も行っていく予定です。

ボランティア活動とおして、子どもからお年寄りまで幅広い年齢層の人と出会うことで勉強になることが多いです。これからも、活動を充実させ、たくさんの方が笑顔になるような取り組みをしたいです。



3年(金井1丁目)サークル長
五江 洵智也さん

那須鳥山ジオパーク構想だより③

シモツケコウホネの
数少ない生育地



「見どころ紹介」

4か所のみ確認されています。2012年には種の保存法(絶滅のおそれのある野生動物種の保存に関する法律)で国内希少野生動物種に指定されました。水中から花茎を伸ばして3センチほどの黄色い花を咲かせるシモツケコウホネですが、世界に4か所しかない自生地のうち、本市下川井地区では生育面積、株数とも1、2を争う規模で生育しています。

シモツケコウホネの開花時期は6月下旬から9月。ちょうどこれからが見頃です。小川からぼつりぼつりと顔を出す花々はなんとも可愛、そして素朴で、「ふるさと」の心地を私たちに感じさせてくれるでしょう。

「ジオ(大地)」といえど、地層や地質に関することだけが見どころではありません。大地で育まれる植物も見どころのひとつです。今回はそんな植物の中からシモツケコウホネをご紹介します。

